明日からできる！

個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実

【数学】

「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」を一体的に充実し、
誰一人取り残さない形で、
「**主体的・対話的で深い学び**」の実現に向けた**授業改善**につなげる



授業改善



主体的・対話的で
深い学びの実現

多様な子供を誰一人
取り残さない視点

全ての子供に
これからの社会を生きる
資質・能力を育む

個別最適な学びと協働的な学びの
一体的な充実

参考：文部科学省「授業づくりnote」
（https://mext-curriculum-gov.note.jp/n/nf934cb3fe36d）

千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導室

ＩＣＴを活用した**反転学習**

※参考
https://youtu.be/jr-YXiGrPqo

反転学習とは、学校での講義と宿題の役割を逆転させた教育で、授業前に基本的な学習を宿題として行い、授業中に教師が個々の生徒に合わせた指導をしたり、生徒同士が協働して取り組む授業形態である。

＜従来の学習＞

授業（インプット）



家庭（アウトプット）



評価

＜**反転学習**＞

家庭（インプット）



授業（アウトプット）



より深い理解！

①反転学習の流れ（一例）

・動画作成（PowerPoint等）、問題準備（Forms等）　教師

・解説動画の視聴（PowerPoint等）
・類題の出題（Forms等）

生徒（家庭学習）

・振り返り（類題解答の確認等）
・学習課題の設定（共通or個人）
・学習内容の記録（個人orグループ）
・まとめ（分かったこと、気付いたこと等）

授業
（個別最適な学び、協働的な学び）

②反転学習のメリットとデメリット

＜メリット＞

・事前に学習を行うため、理解が深まりやすい。
・理解度に応じた学習（個別最適な学び）が可能。
・自身の課題に気づいたり、新たな発見が生まれやすい。
・授業中のアウトプットする時間を長く設定できる。　　など

＜デメリット＞

・生徒が事前学習（宿題）を怠る可能性がある。
・自宅のインターネット環境等が必要。（課題の実施、動画視聴　等）
・授業準備に時間がかかる。　　など